

科目名		ブランドプロデュースII			
担当教員	松田 大・大倉敦志	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションプロデュース科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	5	時間数	100時間
授業概要、目的、授業の進め方	1.オリジナルブランドの立案 2.オリジナルブランドのプレゼンテーション 3.コレクションとしての発表				
学習目標 (到達目標)	夏ファッションショーに向け自分のブランドの企画商品を生産しスタイリング発表する。パターンなど洋服の作りを理解し生産指示書を作成できる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Adobe IllustratorCC				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	導入・企画	ブランド立案コンセプトとは			
2	ブランド立案	ブランド名・コンセプト作業			
3	プレゼンテーション	プレゼンテーション			
4	デザイン会議	デザイン決定・担当決め			
5	パターン・グラフィック	パターン作業・グラフィック作業			
6	テキスタイルワーク	生地決め			
7	縫製職だし	職だし作業			
8	メイク・スタイリング	メイク・スタイリング作業			
9	フィッティング	フィッティングチェック			
10	撮影・ポートレート制作	撮影プランニング			
11	撮影・ポートレート制作	撮影ロケハン			
12	撮影実習	撮影			
13	撮影実習	撮影			
14	撮影実習	写真修正・セグメント			
15	撮影実習	写真修正・セグメント			
16	レイアウトワーク	レイアウト提出			
17	雑貨デザインコンペティション	デザイン作業			
18	雑貨デザインコンペティション	デザイン作業			
19	雑貨デザインコンペティション	デザイン作業・提出・応募			
20	雑貨デザインコンペティション	デザイン作業・提出・応募			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
企画書60%/プレゼンテーション20%/雑貨デザインコンペ20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		全ての課題を提出すること 自分のブランドの企画以外にも責任持って協力し、ファッションショーを成功させること			
実務経験教員の経歴	アパレル業界で5年の実務経験。教員歴20年/県内ニッターでパタンナー、生産管理を歴任。フリーランスでWEBデザインやブランディングを経験。				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名		ブランドプロデュースⅡ			
担当教員	松田 大・大倉敦志		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションプロデュース科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	5	時間数	100時間
授業概要、目的、授業の進め方	1.オリジナルブランドの立案 2.プレゼンテーション 3.グラフィック・パターン・縫製の職出し 4.メイクプランニング				
学習目標 (到達目標)	2年間の集大成としてオリジナルブランドを立ち上げ、ファッションショー形式で発表する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Adobe IllustratorCC				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	企画書制作	リサーチ/マーケティング			
2	企画書制作	コンセプトワーク			
3	企画書制作	ターゲットリサーチ・マーケティング			
4	企画書制作	トレンドマーケティング			
5	企画書制作	シーズンテーマワーク			
6	企画書制作	カラー・素材・ディティール			
7	プレゼンテーション	企画会議			
8	デザインワーク	ラフデザイン出し			
9	デザインワーク	デザイン会議			
10	グラフィックデザインワーク	生地デザイン			
11	グラフィックデザインワーク	生地・素材会議			
12	職出し	パターン職出し仕様書作成			
13	職出し	パターン職出し・企業打合せ			
14	縫製職出し	縫製職出し仕様書作成			
15	縫製職出し	縫製職出し・打ち合わせ			
16	縫製職出し	製品アップ・チェック			
17	ファッションショー	フィッティング			
18	ファッションショー	修正			
19	ファッションショー	リハーサル			
20	ファッションショー	本番			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
企画書60%/プレゼンテーション40% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		全ての課題を提出すること 与えられた課題に対してのテーマ設定・コンセプトを作成しオリジナリティのあるブランドを立案すること			
実務経験教員の経歴	アパレル業界で5年の実務経験。教員歴20年/県内メーカーでパタンナー、生産管理を歴任。フリーランスでWEBデザインやブランディングを経験。				

科目名	ファッション販売能力検定対策Ⅱ(A科目)				
担当教員	金川 愁		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションプロデュース科、 国際ファッションビジネス科、 ファッションビジネス科、 スタイリスト科(スタイリストプレスコース)	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業概要、目的、 授業の進め方	1.ファッション販売能力検定ⅡA科目の知識を習得 2.ファッションビジネス、ファッションマーケティング、ファッション産業、 ファッショントレンド、接客マナー、消費者行動等の理解 3.テキスト、過去問題での復習				
学習目標 (到達目標)	ファッション販売能力検定2級A科目の合格レベルの習得				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ファッション販売2/ファッション販売能力検定試験問題集2級				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ファッション販売知識①		教科書 p8~p9 過去問題演習		
2	ファッション販売知識②		教科書 p10~p12 過去問題演習		
3	ファッション販売知識③		教科書 p13~p14 過去問題演習		
4	ファッション販売知識④		教科書 p15~p19 過去問題演習		
5	ファッション販売技術①		教科書 p20~p24 過去問題演習		
6	ファッション販売技術②		教科書 p25~p30 過去問題演習		
7	ファッション販売技術③		教科書 p31~p35 過去問題演習		
8	ファッション販売技術④、⑤		教科書 p36~p47 過去問題演習		
9	ファッション販売技術⑥		教科書 p48~p51 過去問題演習		
10	ファッション販売技術⑦、⑧		教科書 p52~p61 過去問題演習		
11	マーケティング①		教科書 p152~p155 過去問題演習		
12	マーケティング②		教科書 p156~p160 過去問題演習		
13	マーケティング②		教科書 p161~p166 過去問題演習		
14	マーケティング③		教科書 p167~p173 過去問題演習		
15	試験対策		模擬テスト		
16	試験対策		模擬問題解答・解説		
17	試験対策		模擬テスト		
18	試験対策		模擬問題解答・解説		
19	前期試験		前期試験		
20	前期試験解答・解説		解答・解説		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験評価100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			教科書は毎時間準備すること 授業内での配布物は全て保管すること		
実務経験教員の経歴	セレクトショップにてFAを7年間、販売、VMD業務に関わっていた				

科目名	ファッション販売能力検定対策Ⅱ(A科目)				
担当教員	金川 愁		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションプロデュース科、 国際ファッションビジネス科、 ファッションビジネス科、 スタイリスト科(スタイリストプレスコース)	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業概要、目的、 授業の進め方	1.ファッション販売能力検定ⅡA科目の知識を習得 2.ファッションビジネス、ファッションマーケティング、ファッション産業、 ファッショントレンド、接客マナー、消費者行動等の理解 3.テキスト、過去問題での復習				
学習目標 (到達目標)	ファッション販売能力検定2級A科目の合格レベルの習得				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ファッション販売2/ファッション販売能力検定試験問題集2級				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	A科目過去問題①		第43回 過去問題A科目試験形式及び解答		
2	A科目過去問題①		第43回 過去問題A科目 解説・振り返り		
3	A科目過去問題②		第42回 過去問題A科目試験形式及び解答		
4	A科目過去問題②		第42回 過去問題A科目 解説・振り返り		
5	A科目過去問題③		第41回 過去問題A科目試験形式及び解答		
6	A科目過去問題③		第41回 過去問題A科目 解説・振り返り		
7	A科目過去問題④		第40回 過去問題A科目試験形式及び解答		
8	A科目過去問題④		第40回 過去問題A科目 解説・振り返り		
9	A科目過去問題⑤		第39回 過去問題A科目試験形式及び解答		
10	A科目過去問題⑤		第39回 過去問題A科目 解説・振り返り		
11	A科目過去問題⑥		第38回 過去問題A科目試験形式及び解答		
12	A科目過去問題⑥		第38回 過去問題A科目 解説・振り返り		
13	検定対策		対策ワード解説		
14	検定本番問題の解答・解説①		検定本番問題の解答・解説・振り返り		
15	検定本番問題の解答・解説②		検定本番問題の解答・解説・振り返り		
16	試験対策		模擬問題		
17	試験対策		模擬問題解答・解説		
18	後期試験		後期試験		
19	後期試験解答・解説		解答・解説		
20	一年間のまとめ、振り返り		一年間のまとめ、振り返り		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験評価100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			教科書は毎時間準備すること 授業内での配布物は全て保管すること		
実務経験教員の経歴	セレクトショップにてFAを7年間、販売、VMD業務に関わっていた				

科目名	ファッション販売能力検定対策Ⅱ(B科目)				
担当教員	大澤 清孝		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションプロデュース科、 国際ファッションビジネス科、 ファッションビジネス科、 スタイリスト科(スタイリストプレスコース)	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業概要、目的、 授業の進め方	1.ファッション販売能力検定ⅡB科目の知識を習得 2.ファッションビジネス、ファッションマーケティング、ファッション産業、 ファッショントレンド、商品素材知識、ビジュアルマーチャンダイジング等の理解 3.テキスト、過去問題での復習				
学習目標 (到達目標)	ファッション販売能力検定2級B科目の合格レベルの習得				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ファッション販売2/ファッション販売能力検定試験問題集2級				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	商品知識①		教科書 p61～p93 過去問題演習		
2	商品知識②		教科書 p94～p107 過去問題演習		
3	商品知識③		教科書 p108～p111 過去問題演習		
4	商品知識④		教科書 p112～p117 過去問題演習		
5	売り場づくり①		教科書 p118～p121 過去問題演習		
6	売り場づくり②		教科書 p122～p127 過去問題演習		
7	売り場づくり③		教科書 p128～p137 過去問題演習		
8	売り場づくり④、⑤、⑥		教科書 p138～p143 過去問題演習		
9	売り場づくり⑦、⑧、⑨		教科書 p144～p147 過去問題演習		
10	売り場づくり⑦、⑧、⑨		教科書 p148～p151 過去問題演習		
11	店舗運営管理①		教科書 p174～p182 過去問題演習		
12	店舗運営管理②		教科書 p183～p186 過去問題演習		
13	店舗運営管理③		教科書 p187～p189 過去問題演習		
14	店舗運営管理④		教科書 p190～p193 過去問題演習		
15	試験対策		模擬テスト		
16	試験対策		模擬問題解答・解説		
17	試験対策		模擬テスト		
18	試験対策		模擬問題解答・解説		
19	前期試験		前期試験		
20	前期試験解答・解説		解答・解説		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験評価100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			教科書は毎時間準備すること 授業内での配布物は全て保管すること		
実務経験教員の経歴	スタイリスト歴15年				

科目名	ファッション販売能力検定対策Ⅱ(B科目)				
担当教員	大澤 清孝		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションプロデュース科、 国際ファッションビジネス科、 ファッションビジネス科、 スタイリスト科(スタイリストプレスコース)	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業概要、目的、 授業の進め方	1.ファッション販売能力検定ⅡB科目の知識を習得 2.ファッションビジネス、ファッションマーケティング、ファッション産業、 ファッショントレンド、商品素材知識、ビジュアルマーチャンダイジング等の理解 3.テキスト、過去問題での復習				
学習目標 (到達目標)	ファッション販売能力検定2級B科目の合格レベルの習得				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ファッション販売2/ファッション販売能力検定試験問題集2級				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	B科目過去問題①		第42回 過去問題B科目試験形式及び解答		
2	B科目過去問題①		第42回 過去問題B科目 解説・振り返り		
3	B科目過去問題②		第41回 過去問題B科目試験形式及び解答		
4	B科目過去問題②		第41回 過去問題B科目 解説・振り返り		
5	B科目過去問題③		第40回 過去問題B科目試験形式及び解答		
6	B科目過去問題③		第40回 過去問題B科目 解説・振り返り		
7	B科目過去問題④		第39回 過去問題B科目試験形式及び解答		
8	B科目過去問題④		第39回 過去問題B科目 解説・振り返り		
9	B科目過去問題⑤		第38回 過去問題B科目試験形式及び解答		
10	B科目過去問題⑤		第38回 過去問題B科目 解説・振り返り		
11	A科目過去問題⑥		第37回 過去問題B科目試験形式及び解答		
12	A科目過去問題⑥		第37回 過去問題B科目 解説・振り返り		
13	検定対策		対策ワード解説		
14	検定本番問題の解答・解説①		検定本番問題の解答・解説・振り返り		
15	検定本番問題の解答・解説②		検定本番問題の解答・解説・振り返り		
16	試験対策		模擬問題		
17	試験対策		模擬問題解答・解説		
18	後期試験		後期試験		
19	後期試験解答・解説		解答・解説		
20	一年間のまとめ、振り返り		一年間のまとめ、振り返り		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験評価100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			教科書は毎時間準備すること 授業内での配布物は全て保管すること		
実務経験教員の経歴	スタイリスト歴15年				

科目名	イラストレーターフォトショップ				
担当教員	海津 千並		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションプロデュース科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業概要、目的、授業の進め方	1.フォトショップの基本操作方法を習得する				
学習目標 (到達目標)	フォトショップの基本的な操作方法を理解しツールを使えるようになる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Adobe PhotoshopCC、PhotoshopCCクイックマスター☑				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	インストール		インストール作業		
2	インストール		インストール作業		
3	フォトショップとは		導入：P2～8		
4	基本操作		起動とファイル：P10～21		
5	基本操作		画面表示と色の選択：P22～31		
6	選択範囲の概念		選択ツール：P32～40		
7	選択範囲の概念		その他の選択：P41～45		
8	画像の移動と変形		解像度とサイズ：P46～52		
9	画像の移動と変形		コピー&ペースト：P53～59		
10	カラーの概念		カラーモード：P60～64		
11	カラーの概念		色調補正：P65～71		
12	ペイントツール		ペイント系のツール：P72～96		
13	ペイントツール		ペイント演習：P97		
14	レイヤー操作		レイヤー機能：P98～100		
15	レイヤー操作		レイヤー機能：P101～103		
16	レイヤー操作		レイヤー機能：P104～107		
17	レイヤー操作		レイヤー機能：P108～111		
18	テキストツール		テキストの入力と編集：P128～130		
19	テキストツール		テキストの入力と編集：P131～134		
20	テキストツール		演習P135		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
ペイントの演習50%・テキストの演習50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			課題は全て提出すること パソコン・テキストを必ず準備すること		
実務経験教員の経歴	ブライダルやファッションの現役カメラマン。現在8年経験				

科目名	イラストレーターフォトショップ				
担当教員	海津 千並		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションプロデュース科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業概要、目的、授業の進め方	1.フォトショップの応用操作方法を習得する				
学習目標 (到達目標)	フォトショップの応用操作方法を理解しカラージュマップの作成や写真の合成ができるようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Adobe PhotoshopCC、PhotoshopCCクイックマスター☑				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	フィルターについて		フィルターの概要：P136～151		
2	画像編集・フォトタッチ		色調補正：P164～180		
3	画像編集・フォトタッチ		写真補正演習：P181		
4	ロゴデザイン		ロゴデザインについて：P182～187		
5	ロゴデザイン		ロゴデザインについて：P188～193		
6	ロゴデザイン		ロゴデザインについて：P194～198		
7	ロゴデザイン		ロゴデザイン演習：P199		
8	カード、ステーションナリーデザイン		ポップ制作：P200～207		
9	カード、ステーションナリーデザイン		ポップ制作：P208～215		
10	フォトコラージュ		写真の合成①：P216～221		
11	フォトコラージュ		写真の合成②：P222～227		
12	フォトコラージュ		写真の合成③：P228～233		
13	オリジナルポートフォリオ制作		課題画像加工		
14	オリジナルポートフォリオ制作		ページ構成・レイアウト		
15	オリジナルポートフォリオ制作		コラージュ・合成作成		
16	オリジナルポートフォリオ制作		テキスト・ロゴマーク配置		
17	オリジナルポートフォリオ制作		ブックにまとめ		
18	オリジナルポートフォリオ制作		ブックにまとめ		
19	オリジナルポートフォリオ制作		プレゼンテーション・提出		
20	オリジナルポートフォリオ制作		プレゼンテーション・講評		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
オリジナルポートフォリオ100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			課題は全て提出すること パソコン・テキストを必ず準備すること		
実務経験教員の経歴	ブライダルやファッションの現役カメラマン。現在8年経験				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	ファッションメイク II				
担当教員	河田 愛		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションプロデュース科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業概要、目的、授業の進め方	1.顔のタイプやトレンドメイクの歴史を知り、幅広いメイクのパターンを学ぶ。 2.現在のトレンドメイクを学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	1.ヘアメイクの応用を習得する 2.トレンドメイクに関する知識を身につける				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	メイクブラシ一式、メイクパレット他メイクに必要な道具 コーム他ヘアに必要な道具 その他配布資料				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	4つの顔タイプについて	配布資料にて説明、ワークシート			
2	4つの顔タイプ メイクによる変化	ワークシートに色を塗り変化を比べる			
3	4つの顔タイプ メイクによる変化	ワークシートに色を塗り変化を比べる			
4	4つの顔タイプ 自分のイメージを変えるメイク	セルフメイク実習、ワークシート			
5	4つの顔タイプ 自分のイメージを変えるメイク	セルフメイク実習、ワークシート			
6	トレンドメイクの流れ 50年代～60年代前半	配布資料にて説明、ワークシート			
7	トレンドメイクの流れ 60年代後半～70年代	配布資料にて説明、ワークシート			
8	トレンドメイクの流れ 80年代～90年代	配布資料にて説明、ワークシート			
9	トレンドメイクの流れ 2000年代	配布資料にて説明、ワークシート			
10	トレンドメイクの流れ 2010年代	配布資料にて説明、ワークシート			
11	2019年トレンドメイク&ヘア	配布資料にて説明、ワークシート			
12	2019年トレンドメイク&ヘア	ワークシート、セルフメイク実習			
13	2019年トレンドメイク&ヘア	ワークシート、セルフメイク実習			
14	トレンドを取り入れたヘアメイク課題 立案	ヘアになり、ワークシートにて立案作成			
15	トレンドを取り入れたヘアメイク課題 練習	相モデルで実習			
16	トレンドを取り入れたヘアメイク課題 実技	相モデルで実習(一人目)			
17	トレンドを取り入れたヘアメイク課題 実技	相モデルで実習(二人目)、課題提出			
18	トレンドを取り入れたヘアメイク課題 実技	相モデルで実習(二人目)、課題提出			
19	季節によるメイクの傾向、2019年秋冬のトレンドメイク	配布資料にて説明、ワークシート			
20	季節によるメイクの傾向、2019年秋冬のトレンドメイク	配布資料にて説明、ワークシート			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
ワークシート30%、ヘアメイク技術30%、実習態度30%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		課題が多くなるので、必ず出席し全て提出すること。ワークシートの不備は再提出とする。メイク実習では技術面の向上を目指し意欲的に練習すること。			
実務経験教員の経歴	ヘアメイク実務歴13年				

科目名		ファッションメイクII			
担当教員	河田 愛		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションプロデュース科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業概要、目的、授業の進め方	1.様々なテイストのヘアメイク実習を行う。 2.ファッションと合わせたヘアメイク実習を行う。				
学習目標 (到達目標)	1.ヘアメイクの応用を習得する 2.様々なテイストやトレンドを取り入れたヘアメイクの提案が出来る				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	メイクブラシ一式、メイクパレット他メイクに必要な道具 コーム他ヘアに必要な道具 その他配布資料				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	テイスト別メイク ガーリッシュ (仮) 立案		ワークシートにて立案作成		
2	テイスト別メイク ガーリッシュ (仮) 実技		セルフメイク実習		
3	テイスト別メイク ガーリッシュ (仮) 実技		セルフメイク実習		
4	テイスト別メイク モード (仮) 立案		ワークシートにて立案作成		
5	テイスト別メイク モード (仮) 実技		セルフメイク実習		
6	テイスト別メイク モード (仮) 実技		セルフメイク実習		
7	テイスト別メイク コンサバ (仮) 立案		ワークシートにて立案作成		
8	テイスト別メイク コンサバ (仮) 実技		セルフメイク実習		
9	テイスト別メイク コンサバ (仮) 実技		セルフメイク実習		
10	ファッションに合わせたヘアメイク 立案		指定されたファッションに合わせ立案作成		
11	ファッションに合わせたヘアメイク 実技		相モデルで実習 (一人目)		
12	ファッションに合わせたヘアメイク 実技		相モデルで実習 (二人目)		
13	舞台用メイク		ワークシート、セルフメイク実習		
14	舞台用メイク		ワークシート、セルフメイク実習		
15	和装用ヘアメイク		配布資料にて説明、ワークシート		
16	和装用ヘアメイク		配布資料にて説明、ワークシート		
17	ヘアメイク自由課題 実技		相モデルで実習 (一人目)		
18	ヘアメイク自由課題 実技		相モデルで実習 (二人目)		
19	ヘアメイク自由課題 実技		相モデルで実習 (三人目)		
20	1年間の総まとめ		配布資料にてまとめ、全課題提出期限		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
ワークシート30%、ヘアメイク技術40%、実習態度20%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			課題が多くなるので、必ず出席し全て提出すること。ワークシートの不備は再提出とする。メイク実習では技術面の評価を重要視する為丁寧に取り組むこと。		
実務経験教員の経歴	ヘアメイク実務歴13年				

科目名	コーディネートⅡ				
担当教員	清野 祐子	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションプロデュース科、 国際ファッションビジネス科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業概要、目的、 授業の進め方	1年生で学んだ基礎的なコーディネートテクニックを深め、応用する。 広報の要素を絡めたトータルプランニングができるようになる。				
学習目標 (到達目標)	就職を意識したブランド毎に合うコーディネート。パーソナルカラーを用いお互いを分析し似合うコーディネート提案。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	プランニング ワークシート作成	メンズ、レディース、キッズ各1LOOKを選びコーディネートを論理的に分析する。			
2	異素材ミックスコーディネート プランニング、ワークシート作成	異なった素材をミックスしたコーディネートについての講義とプランニング、ワークシート作成。			
3	異素材ミックスコーディネート 撮影、ワークシート完成。	異素材ミックスコーディネートのスタイリングを考案、撮影。			
4	テイストミックスコーディネート 講義	2種類のテイストをミックスしたコーディネートについて講義。			
5	テイストミックスコーディネートプランニング ワークシート作成	2種類のテイストをミックスしたコーディネートのプランニングとワークシートを作成。			
6	テイストミックスコーディネート撮影	2種類のテイストをミックスしたコーディネートを撮影。ワークシートを完成させる。			
7	配色テクニック講義 コーディネート企画	配色テクニックに関して講義で学び、コーディネートを考える。			
8	配色テクニック撮影 ワークシート作成	コーディネートの撮影とワークシート作成。			
9	配色テクニック 企画プレゼン	ワークシートをもとにプレゼン。			
10	5W2Hオケージョンコーディネートプランニング	5W2Hを具体的に設定したコーディネートについてプランニング。			
11	5W2Hオケージョンコーディネート ワークシート作成、撮影、プレゼン	5W2Hを具体的に設定したコーディネートについてワークシート作成、撮影、プレゼン実施。			
12	LOOKBOOK 講義	LOOKBOOKについて講義			
13	LOOKBOOK 企画	オリジナルLOOKBOOK企画策定。			
14	LOOKBOOK レイアウト	LOOKBOOKのレイアウトについてプリント配布、講義。			
15	LOOKBOOKレイアウト 卒業生作品紹介	卒業生の作成したLOOKBOOKの紹介			
16	LOOKBOOKレイアウト 見やすいレイアウトについて	見やすいレイアウトとは？について講義。レイアウト作成開始。			
17	LOOKBOOKレイアウト作成	企画したLOOKBOOKのレイアウト作成。			
18	LOOKBOOK作成	LOOKBOOKの作成とプレゼン。			
19	LOOKBOOK作成	LOOKBOOKの作成とプレゼン。			
20	LOOKBOOK作成	LOOKBOOKの作成とプレゼン。			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
課題提出100% 点数基準 課題：授業意欲=80：20 企画書、ワークシート、プレゼンの内容で点数の増減(±5点)あり 成績評価基準 A(100~80) B(79~70) C(69~60) D(59~0)		A4ファイル、ノート(ルーズリーフでも可)用意。 PCでのワークシート作業があるためDropboxを使用する。			
実務経験教員の経歴	外資系ハイブランドの販売、店舗マネジメント、新人研修、ロールプレイング指導などを約12年行う。				

科目名		コーディネートⅡ			
担当教員	清野 祐子	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションプロデュース科、 国際ファッションビジネス科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業概要、目的、 授業の進め方	1年生で学んだ基礎的なコーディネートテクニックを深め、応用する。広報の要素を絡めたトータルプランニングができるようになる。				
学習目標 (到達目標)	就職を意識したブランド毎に合うコーディネート。パーソナルカラーを用いお互いを分析し似合うコーディネート提案。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	LOOKBOOK作成	企画したLOOKBOOKのレイアウト作成。			
2	LOOKBOOK作成	企画したLOOKBOOKのレイアウト作成。			
3	LOOKBOOK完成	企画したLOOKBOOKの仕上げ。			
4	LOOKBOOK プレゼン	LOOKBOOKのプレゼン。			
5	2体以上のコーディネート講義	2体以上のコーディネートについて講義。			
6	2体以上のコーディネート プランニング	2体以上のコーディネートについてプランニング			
7	2体以上のコーディネート 撮影	2体以上のコーディネートについて撮影			
8	2体以上のコーディネート ワークシート作成	2体以上のコーディネートについてワークシート作成			
9	撮影予備日 1WEEK着回しプランニング	1WEEK着回しについて講義、企画。			
10	1WEEK着回し 撮影	1WEEK着回しについて撮影。			
11	1WEEK着回し 作成	1WEEK着回しについてワークシート作成。			
12	特集テーマ 企画作成	オリジナル特集テーマの企画考案。			
13	特集テーマ 作成	オリジナル特集テーマのワークシート作成。			
14	特集テーマ 撮影	オリジナル特集テーマのコーディネート撮影。			
15	特集テーマ プレゼン	オリジナル特集テーマのプレゼン。			
16	1年間のまとめ テーマを決めてコーディネート企画作成1	テーマ、コンセプト策定後、企画をPCにて立案。			
17	1年間のまとめ テーマを決めてコーディネート企画作成2	テーマを決めて2年間で学んだことを活かして企画ワークシート配布し企画作成。			
18	1年間のまとめ 企画、プレゼン	テイスト、ターゲット、トレンドを加味した企画作成。プレゼンで採用企画決定。			
19	1年間のまとめ コーディネート作成	採用企画のコーディネート作成。			
20	まとめ 振り返り	1年間のまとめプリント配布。振り返り実施。			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
課題提出100% 点数基準 課題：授業意欲=80:20 企画書、ワークシート、プレゼンの内容で点数の増減(±5点)あり 成績評価基準 A(100~80) B(79~70) C(69~60) D(59~0)		A4ファイル、ノート(ルーズリーフでも可)用意。 PCでのワークシート作業があるためDropboxを使用する。			
実務経験教員の経歴	外資系ハイブランドの販売、店舗マネジメント、新人研修、ロールプレイング指導などを約12年行う。				

科目名		生産管理			
担当教員	渡邊 祥子	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションプロデュース科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業概要、目的、授業の進め方	1.基本的なパターン用語の習得 2.採寸用語の習得				
学習目標 (到達目標)	洋服ができるまでの過程と、基礎知識・採寸・用語を習得する 服飾造形の基礎を一年間で習得する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	服飾造形の基礎				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	導入	テキスト説明・パターン用語			
2	縫製仕様学習	縫製仕様について・プリント			
3	ディテール学習	ディテールについて・プリント			
4	採寸・人体	人体の採寸：テキストP4 4～4 9			
5	採寸・人体	人体のプロポーション：テキストP5 0～6 3			
6	採寸	採寸実習			
7	採寸・衣服	衣服の採寸の仕方について・プリント配布			
8	採寸・衣服	トップスシャツ採寸実習			
9	採寸・衣服	トップスジャケット採寸実習			
10	採寸・衣服	トップスコート採寸実習			
11	採寸・衣服	ワンピース・つなぎ採寸実習			
12	採寸・衣服	トップスニット採寸実習			
13	採寸・衣服	ボトムパンツ採寸実習			
14	採寸・衣服	ボトムスカート採寸実習			
15	試験範囲発表	試験対策授業			
16	試験対策	模擬問題			
17	試験対策	模擬問題解答・解説			
18	試験	試験			
19	試験解答・解説	返却試験問題			
20	まとめ	講評			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
試験点数100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		指定教科書を毎時間準備すること 配布された資料、プリントは全てファイリング・保管すること			
実務経験教員の経歴	県内大手ニッターで3年間縫製職に従事				

科目名	生産管理				
担当教員	渡邊 祥子		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションプロデュース科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業概要、目的、 授業の進め方	1.仕様書の作成方法 2.絵型からの仕様書作成				
学習目標 (到達目標)	職出しの基礎知識。仕様・パターンの名称・指示だけでデザインを形にできるよう流れや指示書の書き方。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	服飾造形の基礎				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	パターン用語基礎：原型		原型講義：テキストP72～75		
2	パターン用語基礎：記号		作図記号：テキストP76～81		
3	パターン操作①		ダーツ展開の理論：テキストP106～114		
4	パターン操作①		パターン操作実習		
5	仕様書の書き方		ハンガーイラスト		
6	仕様書の書き方		仕様図の書き方：縫いしろ		
7	仕様書の書き方		仕様図の書き方：裾始末		
8	仕様書の書き方		仕様図の書き方：ボタン付けとホール		
9	仕様書の書き方		仕様図の書き方：ポケット		
10	仕様書の書き方		仕様図の書き方：芯・伸び止めの種類		
11	仕様書の書き方		仕様図の書き方：要尺とスワッチの貼り方		
12	仕様書の書き方		仕様図の書き方：パターン寸法と色展開		
13	サンプル絵型と仕様書		授業内小テスト		
14	サンプル絵型と仕様書		授業内小テスト解答・解説		
15	試験範囲発表		試験対策授業		
16	試験対策		模擬問題		
17	試験対策		模擬問題解答・解説		
18	試験		試験		
19	試験解答・解説		返却試験問題		
20	まとめ		講評		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験点数100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下) とする。			指定教科書を毎時間準備すること 配布された資料、プリントは全てファイリング・保管すること		
実務経験教員の経歴	県内大手ニッターで3年間縫製職に従事				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	英会話				
担当教員	マツティア ラレセ		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 ブライダルコスチュームデザイン科、 ファッションプロデュース科、 スタイリスト科、アパレルニット科 ファッションビジネス科、	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業概要、目的、 授業の進め方	英語でのコミュニケーション力、ファッションに関する英語力を高める。				
学習目標 (到達目標)	ファッションに関する英単語等を覚える。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	オリジナルプリント				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	紹介① 友達などの紹介のしかた		プリント1		
2	紹介② 性格と主張		プリント2		
3	紹介		ワークシート1 (紹介)		
4	単数、複数		プリント3		
5	単数、複数		ワークシート2 (単数)、会話		
6	単数、複数		ワークシート2 (複数)、会話		
7	衣服① 名称、色		プリント4		
8	衣服① 名称、色		ワークシート3 (衣服の名称)		
9	衣服① 名称、色		ワークシート4 (衣服の名称)		
10	衣服② 動詞、形容詞		プリント5		
11	衣服② 動詞、形容詞		ワークシート5 (動詞、形容詞を使って衣服を表す)		
12	衣服② 動詞、形容詞		ワークシート6 (動詞、形容詞を使って衣服を表す)		
13	衣服③ 形容詞		プリント6、会話		
14	衣服③ 形容詞		プリント7		
15	衣服③ 形容詞		プリント8		
16	衣服③ 形容詞		文章作成		
17	衣服③ 形容詞		復習、会話		
18	復習		ワークシート7		
19	復習		ワークシート8		
20	まとめ		前期まとめ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験60%、課題10%、授業態度15%、学習意欲15% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			英語の基礎を押さえながら、ファッションに関する英語の知識も押さえること。		
実務経験教員の経歴	専門学校や英会話教室で教鞭を取る				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	英会話				
担当教員	マッティア ラレセ	実務授業の有無	○		
対象学科		対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業概要、目的、授業の進め方	英語でのコミュニケーション力、ファッションに関する英語力を高める。				
学習目標 (到達目標)	ファッションに関する英単語等を覚える。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	オリジナルプリント				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	前置詞	プリント9、リスニング			
2	前置詞	プリント9、会話			
3	前置詞	ワークシート9 (文章作成)			
4	前置詞	ワークシート10			
5	前置詞	ワークシート11 (文章作成)			
6	服のお直しのための英語	プリント10、会話			
7	服のお直しのための英語	ワークシート12			
8	服のお直しのための英語	ワークシート12 (文章作成)			
9	服を販売するときの英語	ワークシート13 (会話)			
10	服を販売するときの英語	プリント11			
11	服を販売するときの英語	ワークシート13 (文章作成)			
12	裁縫道具等の英語	プリント12			
13	裁縫道具等の英語	プリント12 (会話)			
14	裁縫道具等の英語	ワークシート14 (文章作成)			
15	復習	ワークシート15			
16	復習	ワークシート16			
17	総復習	ワークシート1-8			
18	総復習	ワークシート9-16			
19	まとめ	後期まとめ			
20	まとめ	総まとめ			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
定期試験60%、課題10%、授業態度15%、学習意欲15% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		英語の基礎を押さえながら、ファッションに関する英語の知識も押さえること。			
実務経験教員の経歴	専門学校や英会話教室で教鞭を取る				

科目名	ファッションリメイク				
担当教員	金子 知美		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションプロデューサー科、 スタイリスト科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業概要、目的、 授業の進め方	1.基本的な縫製テクニックの習得 2.ミシン・アイロンなど道具の扱い方の習得				
学習目標 (到達目標)	縫製・採寸の基礎知識を学び、スカートの制作を通して基礎的な手縫い・ミシンの使い方を習得する				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	縫製道具一式				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	導入・手縫い基礎		まつり縫い・ボタンつけ		
2	ミシン縫い基礎		糸かけ・ミシン使い方・アイロン使い方		
3	パターン知識		名称・仕様について		
4	パターン初期演習		縫代付け・仕様記入		
5	パターン実習①		パターンカット		
6	パターン実習②		パターン縫合チェック		
7	スカート制作		生地準備		
8	スカート制作		裁断		
9	スカート制作		芯貼り		
10	スカート制作		事前アイロン		
11	スカート制作		ロックミシン練習・使い方		
12	スカート制作		パーツロックかけ		
13	スカート制作		脇縫い		
14	スカート制作		ベルト付け		
15	スカート制作		ベルト始末		
16	スカート制作		裾上げ		
17	スカート制作		付属付け		
18	仕上げ・まとめ・アイロン		仕上げアイロンかけ方		
19	発表		発表・検討会		
20	一年間の振り返り・反省		一年間の振り返り・反省		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題：手縫い課題20%/スカート70%/学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			全ての課題を提出すること 道具の管理・使い方は決められたルールで行うこと		
実務経験教員の経歴	洋服のお直し、リメイクのショップを経営				

科目名		ファッションリメイク			
担当教員	金子 知美		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションプロデューサー科、 スタイリスト科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業概要、目的、 授業の進め方	1.基本的な縫製テクニックの習得 2.ミシン・アイロンなど道具の扱い方の習得 3.半袖シャツの縫い方の習得				
学習目標 (到達目標)	縫製・採寸の基礎知識を学び、シャツの制作を通して一着丸縫いできる基礎を習得				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	縫製道具一式				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	パターン配布・説明		仕様・名称説明		
2	パターンワーク		パターン制作・チェック		
3	半袖シャツ制作		生地決定		
4	半袖シャツ制作		裁断・芯貼り		
5	半袖シャツ制作		前身頃パーツ縫い		
6	半袖シャツ制作		後ろ身頃パーツ縫い		
7	半袖シャツ制作		後ろ身頃パーツ縫い		
8	半袖シャツ制作		袖パーツ縫い		
9	半袖シャツ制作		衿パーツ縫い		
10	半袖シャツ制作		見頃ドッキング		
11	半袖シャツ制作		袖ドッキング		
12	半袖シャツ制作		アームホールロック		
13	半袖シャツ制作		衿ドッキング		
14	半袖シャツ制作		そで下・脇縫い		
15	半袖シャツ制作		そで下・脇 ロック		
16	半袖シャツ制作		ボタンホール		
17	半袖シャツ制作		ボタンつけ		
18	仕上げ・まとめ・アイロン		仕上げアイロンかけ方		
19	発表		発表・検討会		
20	一年間の振り返り・反省		一年間の振り返り・反省		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題：手縫い課題20%/半袖シャツ70%/学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			全ての課題を提出すること 道具の管理・使い方は決められたルールで行うこと		
実務経験教員の経歴	洋服のお直し、リメイクのショップを経営				

科目名		ファッションフォトII			
担当教員	海津 千並		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションプロデュース科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業概要、目的、授業の進め方	1. 1年生で身につけた撮影技術を基に様々な写真を撮影する。 2. 撮影した写真をフォトショップを使用し加工・編集する技術を身につける 3. 最終課題で自分の自分のブランドページを作成				
学習目標 (到達目標)	カメラの基礎的な操作方法、スタジオでのマナー使用方法を学ぶ。人物撮りのテクニック・物撮りなど実習だけでなくプリントなどを配布し撮影の知識を学ぶ。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	カメラのおさらい、撮影提出		三分割・額縁・レンズ・光など復習と撮影		
2	写真集課題1 企画書の立案		写真集を作成企画書の立案		
3	露出補正・シーン別の撮影方法		様々な写真のテクニックを学ぶ「露出補正・シーン」		
4	集合写真と画像編集		集合写真の構成や撮影後の画像編集のテクニック		
5	風景を上手に撮影する方法		風景写真の撮影方法テクニック		
6	水平編集・トリミング加工・コントラスト・シャドウ加工1		集合写真の構成や撮影後の画像編集のテクニック		
7	水平編集・トリミング加工・コントラスト・シャドウ加工2		フォトショップを使用した編集方法		
8	水平編集・トリミング加工・コントラスト・シャドウ加工3		フォトショップを使用した編集方法		
9	夜の撮影・暗い空間での撮影		暗い場所や夜景などでの撮影方法を学ぶ		
10	フォトショップを使用した写真加工の色々1		フォトショップを使用した編集方法		
11	フォトショップを使用した写真加工の色々2		フォトショップを使用した編集方法		
12	フォトショップを使用した写真加工の色々3		フォトショップを使用した編集方法		
13	写真集課題2 自由課題ファッションページを作成		写真集の作成と撮影		
14	写真集課題3 自由課題ファッションページを作成		写真集の作成と撮影		
15	写真集課題4 自由課題ファッションページを作成		写真集の作成と撮影		
16	写真集課題5 自由課題ファッションページを作成		写真集の作成と撮影		
17	写真集課題6 自由課題ファッションページを作成		写真集の作成と撮影		
18	写真集課題7 自由課題ファッションページを作成		写真集の作成と撮影		
19	写真集課題8 自由課題ファッションページを作成		写真集の作成と撮影		
20	写真集課題9 自由課題ファッションページを作成		写真集の作成と撮影		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技課題90%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			写真撮影課題を評価し成績とする		
実務経験教員の経歴	ブライダルやファッションの現役カメラマン。現在8年経験				

科目名		ファッションフォトII						
担当教員		海津 千並		実務授業の有無		○		
対象学科		ファッションプロデュース科	対象学年		2	開講時期		後期
必修・選択		必修	単位数		2	時間数		40時間
授業概要、目的、授業の進め方		1. 1年生で身につけた撮影技術を基に様々な写真を撮影する。 2. 撮影した写真をフォトショップを使用し加工・編集する技術を身につける 3. 最終課題で自分のブランドページを作成						
学習目標 (到達目標)		カメラの基礎的な操作方法、スタジオでのマナー使用方法を学ぶ。人物撮りのテクニック・物撮りなど実習だけでなくプリントなどを配布し撮影の知識を学ぶ。						
テキスト・教材・参考図書・その他資料		なし						
回数	授業項目、内容				学習方法・準備学習・備考			
1	商品の物撮り（ブランドページの撮影）1				WEB掲載用の写真撮影方向を学び撮影する40アイテム			
2	商品の物撮り（ブランドページの撮影）2				WEB掲載用の写真撮影方向を学び撮影する40アイテム			
3	商品の物撮り（ブランドページの撮影）3				WEB掲載用の写真撮影方向を学び撮影する40アイテム			
4	商品の物撮り（ブランドページの撮影）4				WEB掲載用の写真撮影方向を学び撮影する40アイテム			
5	人物撮影（ブランドページの撮影）1				ブランドページ用の人物撮影10カット			
6	人物撮影（ブランドページの撮影）2				ブランドページ用の人物撮影10カット			
7	人物撮影（ブランドページの撮影）3				ブランドページ用の人物撮影10カット			
8	人物撮影（ブランドページの撮影）4				ブランドページ用の人物撮影10カット			
9	人物撮影（ブランドページの撮影）5				ブランドページ用の人物撮影10カット			
10	ブランドページ作成編集作業1				イラストレーター、フォトショップを使用した編集作業			
11	ブランドページ作成編集作業2				イラストレーター、フォトショップを使用した編集作業			
12	ブランドページ作成編集作業3				イラストレーター、フォトショップを使用した編集作業			
13	ブランドページ作成編集作業4				イラストレーター、フォトショップを使用した編集作業			
14	ブランドページ作成編集作業5				イラストレーター、フォトショップを使用した編集作業			
15	ブランドページ作成編集作業6				イラストレーター、フォトショップを使用した編集作業			
16	ブランドページ作成編集作業7				イラストレーター、フォトショップを使用した編集作業			
17	ブランドページ作成編集作業8				イラストレーター、フォトショップを使用した編集作業			
18	ブランドページのプレゼンテーション1				WEBページのプレゼンテーション発表			
19	ブランドページのプレゼンテーション2				WEBページのプレゼンテーション発表			
20	ブランドページのプレゼンテーション3				WEBページのプレゼンテーション発表			
評価方法・成績評価基準					履修上の注意			
実技課題90%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					写真撮影課題を評価し成績とする			
実務経験教員の経歴		ブライダルやファッションの現役カメラマン。現在8年経験						

科目名	就職実務 II				
担当教員	松田 大		実務授業の有無	×	
対象学科	ファッションデザイン科、 アパレルニット科、スタイリスト科、 プライダルコスチュームデザイン科、 ファッションプロデュース科、 ファッションビジネス科、 国際ファッションビジネス科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業概要、目的、 授業の進め方	1、就職の面接練習 2、企業研究の方法を知る 3、エントリーシート対策				
学習目標 (到達目標)	ファッション業界の就職活動において企業研究が出来自己PR面接に活かせるようになる				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	自己PR文章作成1		エントリーシート・履歴書用自己PRの作成		
2	自己PR文章作成2		エントリーシート・履歴書用自己PRの作成		
3	自己PR文章作成3		エントリーシート・履歴書用自己PRの作成		
4	GD対策1		GD対策授業面接練習		
5	GD対策2		GD対策授業面接練習		
6	GD対策3		GD対策授業面接練習		
7	グループ面接対策1		グループ面接実践		
8	グループ面接対策2		グループ面接実践		
9	グループ面接対策3		グループ面接実践		
10	グループ面接対策4		グループ面接実践		
11	メールのマナー・添え状・お礼状など		メールでの文章作成の基本。添え状テンプレート作成		
12	企業リストアップ1		企業研究を深め企業を絞り込む		
13	企業リストアップ2		企業研究を深め企業を絞り込む		
14	適性検査の基本		適性検査について評価のポイント		
15	SPA対策		SPA試験対策指導		
16	社会人マナー検定対策1		社会人常識マナー検定対策授業		
17	社会人マナー検定対策2		社会人常識マナー検定対策授業		
18	社会人マナー検定対策3		社会人常識マナー検定対策授業		
19	社会人マナー検定対策4		社会人常識マナー検定対策授業		
20	社会人マナー検定対策5		社会人常識マナー検定対策授業		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
社会人常識マナー検定模擬試験での評価 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			特になし		
実務経験教員の経歴	アパレル業界で5年の実務経験。教員歴20年				

科目名	就職実務 II				
担当教員	松田 大		実務授業の有無	×	
対象学科	ファッションデザイン科、 アパレルニット科、スタイリスト科、 ブライダルコスチュームデザイン科、 ファッションプロデュース科、 ファッションビジネス科、 国際ファッションビジネス科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業概要、目的、 授業の進め方	1、就職の面接練習 2、企業研究の方法を知る 3、エントリーシート対策				
学習目標 (到達目標)	ファッション業界の就職活動において企業研究が出来自己PR面接に活かせるようになる				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	社会人常識マナー検定対策6		社会人常識マナー検定対策授業		
2	社会人常識マナー検定対策7		社会人常識マナー検定対策授業		
3	社会人常識マナー検定対策8		社会人常識マナー検定対策授業		
4	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
5	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
6	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
7	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
8	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
9	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
10	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
11	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
12	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
13	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
14	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
15	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
16	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
17	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
18	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
19	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
20	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
社会人常識マナー検定模擬試験での評価 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			特になし		
実務経験教員の経歴	アパレル業界で5年の実務経験。教員歴20年				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	卒業制作				
担当教員	松田 大・大倉敦志		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションプロデュース科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業概要、目的、授業の進め方	1.オリジナルブランドの立案 2.プレゼンテーション 3.グラフィック・パターン・縫製の職出し 4.メイクプランニング				
学習目標 (到達目標)	2年間の集大成としてオリジナルブランドを立ち上げ、ファッションショー形式で発表する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Adobe IllustratorCC				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	企画書制作	リサーチ/マーケティング			
2	企画書制作	コンセプトワーク			
3	企画書制作	ターゲットリサーチ・マーケティング			
4	企画書制作	トレンドマーケティング			
5	企画書制作	シーズンテーマワーク			
6	企画書制作	カラー・素材・ディティール			
7	プレゼンテーション	企画会議			
8	デザインワーク	ラフデザイン出し			
9	デザインワーク	デザイン会議			
10	グラフィックデザインワーク	生地デザイン			
11	グラフィックデザインワーク	生地・素材会議			
12	職出し	パターン職出し仕様書作成			
13	職出し	パターン職出し・企業打合せ			
14	縫製職出し	縫製職出し仕様書作成			
15	縫製職出し	縫製職出し・打ち合わせ			
16	縫製職出し	製品アップ・チェック			
17	ファッションショー	フィッティング			
18	ファッションショー	修正			
19	ファッションショー	リハーサル			
20	ファッションショー	本番			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
企画書60%/プレゼンテーション40% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		全ての課題を提出すること 与えられた課題に対してのテーマ設定・コンセプトを作成しオリジナリティのあるブランドを立案すること			
実務経験教員の経歴	アパレル業界で5年の実務経験。教員歴20年/県内メーカーでパタンナー、生産管理を歴任。フリーランスでWEBデザインやブランディングを経験。				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	卒業制作				
担当教員	松田 大・大倉敦志		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションプロデュース科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業概要、目的、授業の進め方	1.オリジナルブランドの立案 2.プレゼンテーション 3.グラフィック・パターン・縫製の職出し 4.メイクプランニング				
学習目標 (到達目標)	2年間の集大成としてオリジナルブランドを立ち上げ、ファッションショー形式で発表する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Adobe IllustratorCC				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	企画書制作	リサーチ/マーケティング			
2	企画書制作	コンセプトワーク			
3	企画書制作	ターゲットリサーチ・マーケティング			
4	企画書制作	トレンドマーケティング			
5	企画書制作	シーズンテーマワーク			
6	企画書制作	カラー・素材・ディティール			
7	プレゼンテーション	企画会議			
8	デザインワーク	ラフデザイン出し			
9	デザインワーク	デザイン会議			
10	グラフィックデザインワーク	生地デザイン			
11	グラフィックデザインワーク	生地・素材会議			
12	職出し	パターン職出し仕様書作成			
13	職出し	パターン職出し・企業打合せ			
14	縫製職出し	縫製職出し仕様書作成			
15	縫製職出し	縫製職出し・打ち合わせ			
16	縫製職出し	製品アップ・チェック			
17	ファッションショー	フィッティング			
18	ファッションショー	修正			
19	ファッションショー	リハーサル			
20	ファッションショー	本番			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
企画書60%/プレゼンテーション40% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		全ての課題を提出すること 与えられた課題に対してのテーマ設定・コンセプトを作成しオリジナリティのあるブランドを立案すること			
実務経験教員の経歴	アパレル業界で5年の実務経験。教員歴20年/県内メーカーでパタンナー、生産管理を歴任。フリーランスでWEBデザインやブランディングを経験。				